



しろいしレイン坊

白石市の取組紹介

Q1 接続期カリキュラムの活用について取り組んでいますか？

平成24年度から活用しています。令和2年3月に改訂版を作成し、令和4年度に全体計画とカリキュラム暫定版を示し実践に入りました。令和5年度は、架け橋期のカリキュラムの全体計画をアップデートし、更にモデル中学校区のブロックで、小学校3年生から中学校3年生までの学びの連続性を捉えた全体構想を作成しました。令和6年度は資料集を作成して各園、学校で活用しており、令和7年度も新たな資料集を作成中です。

Q2 誰がどのようにしてカリキュラムを作っているのですか？

令和4年度に架け橋プログラム運営会議を組織し、市内公立保育園・幼稚園長と小学校の校長、実務担当者が代表委員となり基本カリキュラムを作成しました。令和5年度は実践と振り返りを行い、さらに一つの中学校区をモデル地区として小学校3年生から中学校3年生までの学びの連続性を捉えた全体構想を作成しました。令和6年度は5歳児担任(公立、私立)と小学校1年生担任がカリキュラム編集委員として実践につながる資料を作成しました。令和7年度も引き続き新しいカリキュラム編集委員で資料集を作成中です。

Q3 活用に当たって配慮していることはどんなことですか？

各学校・園に開発会議、運営会議の委員または、カリキュラム作成委員がいることから、内容が周知されるほか、理解研修や双方の体験研修、または、振り返りの会などを行う中で互いの顔が見える関係づくりに配慮してきました。特に双方での一日体験研修後に行う振り返りの会では、互いの感想や疑問点などを出し合い、子供理解に役立ちました。その後の保育実践や、授業に大いに参考になるので、振り返りの意見交換は重要と考えております。

Q4 5歳児・1年生担任からはどのような声が寄せられていますか？

 一日保育体験・小学校体験研修を通しての感想を聞かせてください。



幼児教育の遊びの経験を知ることで、経験を共有しながら、関連付けて考えられるように授業を組み立てるようになりました。特に生活科では「園ではこうしていた」「こんなことしたよ」という声をつなぎ、活動に活かし工夫するようになりました。

(小学校教諭)



幼児教育で行われている「ドキュメンテーション」を取り入れた学習環境整備の一つとして児童がいつでも見られるようにしました。(小学校教諭)



スタートカリキュラムは、授業時間の配分を考慮して活動を行い、楽しく集中できる工夫をするなど、子供たちに寄り添う姿勢を意識して授業をしていることが分かりました。(保育園保育士)

【カリキュラム作成のプロセス】



相互理解 幼保小の関係構築

- 運営会議（合同会議）による取組内容の協議
（2か月に1回程度で開催、年6回程度） ← 相互理解のための研修企画
- 架け橋プログラム理解研修（大学教授等講話、文科省幼児教育課調査官講話）
- 一日保育体験（小学校教諭が園へ） 一日小学校体験（保育士等が小学校へ）
事後合同研修会の実施（各々2回、計4回）
- 保育参観（スキルアップ研修提案保育、p4c実践）、授業参観（スタートカリキュラムの実践、幼保小交流活動（事前・事後も）、p4c実践）

カリキュラムの作成・実践・改善

- 接続カリキュラム理解研修会、振り返りの会の実施
（5歳児担当者、小学校1年生担任等は悉皆）
 - ・実践に向けた趣旨や取組の説明、実践の振り返り、幼保小での情報交換
← 実践事例についてワークショップを行う
- 架け橋期全体計画の作成（目指す子供の姿、ねらい・育みたい力、環境の構成、支援・援助、家庭との連携等の可視化）
 - ・本市全体の基本モデルとして、運営会議メンバーを中心に作成
← 開発会議で協議、改善・更新 ← 各園・小学校での共有資料に
- 学びの連続性の全体構想図の作成（小学校3年生～中学校3年生）
 - ・中学校区で作成（運営会議のメンバー） ← 「学び・人・生活をつなぐ」の共通の視点で
- アプローチ期のカリキュラム（基本モデル）実践資料集の作成
 - ・本市基本モデルを基に、園での実践内容をまとめ、資料集として幼保小で累積、共有資料に
← 小学校への接続

幼児・児童の交流・学校体験

- モデル園・モデル小学校での交流活動実践
 - ← 交流活動当日や事前、事後の授業を参観する機会として提供する
- 市内各小学校と幼保との交流活動、幼保同士の交流活動に展開
 - ← 施設間で連絡調整し、交流活動を実施
- 白石市小学校見学会の実施（親子等で入学予定の小学校へ）
 - ← 市内各小学校で同日開催 小学校見学、在校生との交流を行う

架け橋期のカリキュラム全体計画(5歳児)

白石市架け橋期のカリキュラム全体計画 5歳児4月～8月

目指す子供の姿
 ○自分から進んで周囲の物や他者と関わり様々な経験をjする子供【自立心】
 ○友達と共感しながら育ち合う子供【協同性】
 ○様々な環境に関わる中から、豊かな感性が育まれ、いろいろな表現で伝えようとする子供【豊かな感性と表現】

月	4	5	6	7	8
期	5歳児 1期		5歳児 2期		
ねらい	様々な遊びを意図的に行う中で、自信をもつて生活する。				
生活をつなぐ	基本的な生活習慣が身につく。自信をもち、遊びや活動などに意図的に取り組もうとする。				
人と関わる力	自分の気持ちや考えを相手に伝え、相手の思いをくみとる。				
学びをつなぐ	身近な環境に親しみ、自然とふれあう中で、様々な事象に興味や関心をもつ。				
生活をつなぐ	自分の身の回りのことは自分でできる。手洗い・うがいをしよう。歯磨きをしよう。お風呂をしよう。おむつを履きかえよう。おむつを履きかえよう。おむつを履きかえよう。おむつを履きかえよう。				
共通して取り組む活動	○見通しをもつて生活する ○見通しをもつて生活する ○見通しをもつて生活する ○見通しをもつて生活する ○見通しをもつて生活する				
人をつなぐ	○お名前・動物の音・物の名前を話し合おう ○お名前・動物の音・物の名前を話し合おう ○お名前・動物の音・物の名前を話し合おう ○お名前・動物の音・物の名前を話し合おう ○お名前・動物の音・物の名前を話し合おう				
学びをつなぐ	○人の話を注意して聞いたり、相手に分かるように話をしたりする ○人の話を注意して聞いたり、相手に分かるように話をしたりする ○人の話を注意して聞いたり、相手に分かるように話をしたりする ○人の話を注意して聞いたり、相手に分かるように話をしたりする ○人の話を注意して聞いたり、相手に分かるように話をしたりする				
子どもの交流等	運動会の練習を始める				
環境構成	★遊びを継続し、満足感や達成感を得られるように環境や道具などを十分に用意し、遊びの時間を確保する。 ○身近な物や自然物などから整理整頓するスペースを作り、視覚的な提示物を用意する。 ★行事など共通の目的に向けて話し合いながら実現に向かう場面を大切にしたい。子どもが持てる力を最大限に引き出し、その過程を通して、年長組になった気持ちで取り組むよう促す。				
家庭との連携	○園の様子を伝えたり、家庭での様子や成長している様子や見守りながら遊ばせたりしながら、保護者の思いを受け止めながら信頼関係を築いていく。 ○園の様子を伝えたり、家庭での様子や成長している様子や見守りながら遊ばせたりしながら、保護者の思いを受け止めながら信頼関係を築いていく。 ○園の様子を伝えたり、家庭での様子や成長している様子や見守りながら遊ばせたりしながら、保護者の思いを受け止めながら信頼関係を築いていく。				
幼保小児間の交流・研修等	○市内小児科保健師 ○市内小児科保健師 ○市内小児科保健師 ○市内小児科保健師 ○市内小児科保健師				

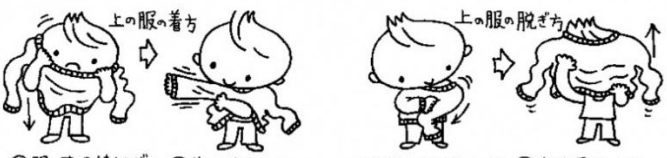

白石市架け橋期のカリキュラム全体計画 5歳児9月～3月

月	9	10	11	12	1	2	3
期	5歳児 3期			5歳児 4期			
ねらい	様々な活動や体験を通して、友達と協力したり創意工夫したりして遊ぶ中で、思いを伝えるための表現を楽しむ。						
生活をつなぐ	公共の場所、共同で利用する場所の使い方がわかる気持ちよく使う。						
人と関わる力	生活や遊びの中で起こるトラブルなどを通して、自分の気持ちや行動に折り合いを付けようとする。						
学びをつなぐ	身近な環境に親しみ、自然とふれあう中で、様々な事象に興味や関心をもつ。						
生活をつなぐ	自分の身の回りのことは自分でできる。手洗い・うがいをしよう。歯磨きをしよう。お風呂をしよう。おむつを履きかえよう。おむつを履きかえよう。おむつを履きかえよう。おむつを履きかえよう。						
共通して取り組む活動	○自分の身の回りのことは自分でできる。手洗い・うがいをしよう。歯磨きをしよう。お風呂をしよう。おむつを履きかえよう。おむつを履きかえよう。おむつを履きかえよう。おむつを履きかえよう。						
人をつなぐ	○お名前・動物の音・物の名前を話し合おう ○お名前・動物の音・物の名前を話し合おう ○お名前・動物の音・物の名前を話し合おう ○お名前・動物の音・物の名前を話し合おう ○お名前・動物の音・物の名前を話し合おう						
学びをつなぐ	○人の話を注意して聞いたり、相手に分かるように話をしたりする ○人の話を注意して聞いたり、相手に分かるように話をしたりする ○人の話を注意して聞いたり、相手に分かるように話をしたりする ○人の話を注意して聞いたり、相手に分かるように話をしたりする ○人の話を注意して聞いたり、相手に分かるように話をしたりする						
子どもの交流等	運動会の練習を始める						
環境構成	○自然の美化や楽しさ、不思議さを感じることを体験、知的好奇心を満たす遊びや環境を工夫する。 ○小学生との交流を通して、就学への期待をふくらませることができるよう小学校と連携した提示物を用意する。 ★行事など共通の目的に向けて話し合いながら実現に向かう場面を大切にしたい。子どもが持てる力を最大限に引き出し、その過程を通して、年長組になった気持ちで取り組むよう促す。						
家庭との連携	○就学への不安や心配について継続し、安心して就学できるように必要な情報を提供し、相談できる機会をつくる。(個人面談等) ○就学に向けての生活や就学までに身に付けておきたいことや準備しておくことを告知していく。						
幼保小児間の交流等	○市内小児科保健師 ○市内小児科保健師 ○市内小児科保健師 ○市内小児科保健師 ○市内小児科保健師						

○目指す子供の姿
 中学校区3つのブロックで話し合い、「自立心」、「協同性」、「豊かな感性と表現」の視点を特に重視することに決めました。中学校は「自立心」から「自律心」へ「協同性」から「協働性」へと更新していきます。

- 「ねらい」や「育みたい力」はインクルーシブの視点を大切に表現しています
- 実践等から聞き取ったことをカリキュラムに反映させ、改善を図っていきます
- その一つとして子供自身の声を拾い上げていきます。
- 本市の独自性のある取組として「p4c」を全体計画に位置付けています

幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿を明記しながら、活動や遊びの中に環境構成の工夫を入れて誰もが理解しやすい指導案にしています。



生活をつなぐ	健康な心と体 自立心 思考力の芽生え	
活動名	衣服の着脱をしよう	
ねらい	◎自分で着脱できるようになる。 ◎身だしなみを自分で整えようとする。	
環境構成	◆客観的に自分の姿が分かるように、鏡を準備する。 ◆着脱が分かりやすいように、絵表示などを掲示する。  ◆着替えの時間やスペースを確保する。	
幼児の活動	保育者の配慮・援助	
○自分で着脱をする。 ○身に着けた衣服は、整っているかを確認する。 ・下着が出ていないか。 ・裏返しや前後ろが逆になっていないか。 ・靴下は、きちんと履けているか。 ○登園したら、自分の持ち物の始末をする。 ・決められたロッカーに片付ける。 ・上着や帽子などをフックにかける。 ・必要に応じて着替えをする。	◇自分で着脱ができるように、脱ぎ方や着方について丁寧に知らせていく。  ◇客観的に自分の姿がわかるように、鏡に映して点検できるようにする。 ◇できた時は、大いに褒めたり、認めたりして自信をもてるようにする。 ◇持ち物の始末ができたかを確認する。できていないことがある時は、声掛けをしながら習慣づくようにしていく。 ◇衣服の汚れに気づいたり、気温などに合わせて調節したりできるように伝えていく。	


育みたい力

……の囲みは幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿の項目です。

人をつなぐ

社会生活との関わり
言葉による伝え合い

活動名	ハロー！ワーク(ジョブ)	
ねらい	◎いろいろな仕事があることを知り、興味をもつ。 ◎将来の夢について、考えてみようとする。	
環境構成	◆いろいろな仕事があることを、絵本やパネルシアターなどを活用し、知らせる。 ◆いろいろな仕事に興味をもてるように、仕事に関連した写真やイラスト、実物などを準備したり、掲示したりする。 ◆身近な地域の職場見学をさせてもらったり、仕事内容を教えてもらったりすることで、仕事への興味をもてるようにする。 	
幼児の活動	○絵本やパネルシアターを見る。 ○どんな仕事があるのか話し合う。 ・どんな仕事があるか ・家族の仕事について ・大きくなったら何になりたいか など ○仕事クイズをする。 	保育者の配慮・援助 ◇絵本を読んだり、パネルシアターを見せたりするときには、幼児の表情を見ながら、ゆったりと話をする。 ◇絵本やパネルシアターの後に幼児の声に耳を傾け、気づきに共感する。 ◇幼児から出た職業を書き出すことでいろいろな仕事があることを共有していく。 ◇仕事内容についても興味をもてるように、どんなことをするのか考えられる時間を設けていく。 ◇家族がどんな仕事をしているのか聞いてみるよう話をし、保護者にも家族の仕事についても話をしてもらえるように投げかける。 ◇仕事クイズなどをしていろいろな仕事に興味・関心がもてるようにしていく。

活動名	秋の自然物で遊ぼう	
ねらい	◎自然物のいろいろな形 ◎自然物を使って、いろいろな	環境構成は、幼児の活動の展開にに応じて、随時変化（追加したり、取り除いたりする）していきます。その際、配慮や援助も変化していきます。
環境構成	◆園庭や園外保育で拾ってきた木の実、草の実、落ち葉、小枝などを分類して、箱などに入れておく。 ◆自然物を調べられるように、図鑑を置いておく。 ◆調べて分かった葉や実の名前を紙に書けるように紙やペンを用意しておく。 ◆カラーポリ袋、リボン、毛糸、両面テープ、ラピーテープ、セロハンテープ、ボンド、紙コップ、空き容器などの材料を用意する。 ◆幼児が遊びの中で、使いたい材料をその都度用意する。	
幼児の活動	保育者の配慮・援助	
○葉や木の実を集めて遊ぶ。 ・拾ってきたものを分類する。 ・図鑑を見て調べる。 ○葉や木の実を使って、いろいろな物を作る。 ・葉っぱの服を作る。 ・楽器を作る。 ・装飾を作る。など ○制作物をみんなで見合う。 ・着てみる。 ・鳴らしてみる。 ・飾ってみる。 	◇形の面白さや色の違いなど、幼児の気づきや発見に耳を傾けたり、調べたりしたことをみんなで共有していく。 ◇作り方や並べ方、貼り方など、工夫している所を具体的に認め、意欲を高めていくようにする。 ◇悩んでいる幼児には、アイデアがわくように思いを引き出していく。 ◇制作物を見せ合うために、どうしたらよいか相談して具体的に決めていく。 ◇作品を見合う場面を作り、お互いの作品を認め合うようにする。 ◇見ている幼児に、どうだったか感想を聞いたり、これからどんなふうにして遊んでいくか考えたりする。	

実践資料集の事例

学びをつなぐ 子どもの姿

①

ねがい

活動名 すごろく遊びをしよう

② ねらい

③ 環境構成

④ 保育者の配慮・援助

⑤ 幼児教育を通して育まれた10の姿

⑥ 小学校の教科等における資質・能力とのつながり

(算数科)

- ・ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の大きさの比べ方や数え方を考える力
- ・身の回りにもあるものの形に着目し、箱の形をしたものを観察したり、構成したり、分解したりして表現する力

⑦ 環境を生かした幼児の活動

○保育士手作りのすごろくでグループ対抗のすごろくをして遊ぶ
・遊び方やすごろくの面白さを知る。

○すごろくを作る
・p4cでどんなマスがあるか楽しいか意見を出し合う。
・2人組になり、どのマスを作るか相談し一緒に書く。

○遊んでみよう
・友達とマス配置する。
・グループごとに話し合い、役割分担を決め、全体で発表する。(リーダー、サイコロを振る人、駒を進める人など)
・各グループのリーダーが、じゃんけんでは遊ぶ順番を決める。
・サイコロの目や進むマスを数えたり、マスの文章を読んだりしながらルールに従って遊ぶ。
(1回休み、3マス進む、好きな動物のまねをする、こま回しをする、縄跳びをする等。)

○振り返りをする
・グループごとに振り返りをする。
・グループから出た意見を共有し、クラス全体で振り返りをする。

「6秒木になる」マスにとまったグループ

コマとサイコロが小さくてみえにくかった。



○本市基本モデルとして指導案型のアプローチ期のカリキュラムを作成しましたが、各園での子供の姿や、クラスの数等、置かれている状況は様々なことから、具体的な実践の方法が違ってきます。そこで、園で実践した内容のイメージが共有化できるようにするため、参考事例として今年度の実践をまとめ、資料集として活用することにしました。(令和6年度より実施)

○資料集の構成(一つの実践事例を見開きで2ページにまとめる:①~⑥は左頁)

- ①活動に対する子供の姿と保育者の願い
- ②ねらい
- ③環境の構成
- ④保育者の配慮・援助
- ⑤幼児教育を通して育まれた10の姿
⇒ 活動を通して何が育まれたか
- ⑥小学校の教科等における資質・能力とのつながり
⇒ 小学校の教科等における資質・能力のどこにつながっていくのか
- ⑦環境を生かした幼児の活動(右頁)

○「環境を生かした幼児の活動」は、ドキュメンテーション化してその活動がどのように展開していったのか、写真や子供の言葉(吹き出し)で表現してより具体的にイメージを共有できるように表記しました。

○毎年実践記録として累積していきます。

○園庭や散歩先で進んで虫や生き物を探し、触ってみようとしたり、捕まえて観察したりする子がいる。
○見つけた虫を飼育ケースに入れ、餌や育つ環境について図鑑で調べる子がいる。クラスの友達や保育士に相談し、餌ってみようとする姿も見られる。
●生き物を飼育するための方法や必要な準備物について、友だちや保育者と一緒に調べたり考えたりしながら大切に育て、生き物への興味・関心を深めてほしい。

活動名	見つけよう！捕まえよう！飼ってみよう！
ねらい	◎身近な自然や生き物に、親しみをもつ。 ◎飼育を通して生命の尊さに気づき、大切にすることを覚える。
◆環境構成	◆「なぜ？」「どうして？」を自分で調べたり、考えたりできるように、絵本や図鑑を準備する。 ◆幼児がいつでも変化に気づけるように、飼育コーナーを設置する。 ◆飼育に必要なものは随時準備する。
◇保育者の配慮・援助	◇飼うためには何が必要か、どんな約束が必要かなども事前に話し合うようにする。 ◇保育者は、見つけた生き物を幼児と一緒に観察しながら、一人一人の気づきや驚きなどを受け止め、共感していく。 ◇飼育ケースは大きめのものを用意し、観察しやすいようにする。 ◇餌やりなどの生き物の世話は、保育者のみが行うのではなく、全員が同じ経験をできるように順番に行う。 ◇幼児の飼ってみたい気持ちを大切にしながら、本来自然の中に生息するものであることにも気づかせ、飼育している生き物の今後について話し合う場を設ける。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 3 協同性 4 道徳性・規範意識の芽生え 6 思考力の芽生え
7 自然との関わり・生命尊重 9 言葉による伝えあい
10 豊かな感性と表現

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

生活科

○身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容 (7)
動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみを持ち、大切にしようとする。

特別の教科 道徳 第1学年及び第2学年

- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
(18) 自然愛護
身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。

次ページ「環境を生かした幼児の活動」
ドキュメンテーションへ続く

環境を生かした幼児の活動

○散歩をしているとたんぼにオタマジャクシのたまご発見！
5月9日(金)



あれはなに？！

もしかしてたまご？！



5月26日(月)

○オタマジャクシ生まれたかな？捕まえよう！



いっぱいいるよ！

飼ってみよう！7匹

あみですくってみる！



○観察する

・大きさや手が生える成長に気付く

6月20日(金)



ぜんぶにてがはえた！！

あしがはえたのもいるね！！

それはいきものだからしかたない

保育室にオタマジャクシコーナーを設置。
図鑑や絵本、描いた絵なども貼っておく。



みずがちょっとくさいね…

○世話をする

・餌を与える。(図鑑を見て調べ、麩、にぼしをあげる)
・水槽を洗い、水を交換する

○話し合う

・尻尾が短くなり、緑色になってきたカエルが飼育ケースの外に出たかかっていることについて、「どうしようか」「どこに返したらよいか」話し合う

6月24日(火)



なかまのところにかえってみんなであそびたいとおもう

またあおうね

おおきくなるんだよ～

たんぼでうまれたから、たんぼにかえりたいとおもう



○自然に返しに行く(7匹)

6月24日(火)・27日(金)

各保育園や幼稚園で経験している共通の遊び等を保育園や幼稚園、小学校で共有することにより、小学校入学後に“みんなが知っている歌や遊び”を取り入れた活動がしやすくなり、児童の安心感や意欲的に取り組む姿につながっています。

保育園幼稚園共通のあそび

	題名	教材選択の理由
歌	友だち讃歌	・いろいろな地域の保育園や幼稚園から入学する子どもたち。国や地域が違っても同じ仲間であだちの意識が芽生える曲。
	春がきたんだ	・春が来たうれしさと1年生になる期待が、リズムカルな曲調に表現されており、うきうきした気持ちで楽しく歌える。
	一年生マーチ	・新しいランドセルで晴れ晴れとした表情で登校するイメージがもてる曲である。元気にリズムカルに口ずさんでほしい。
手あそび	グー、チョキ、パー	・グーチョキパーを両手で示しながら、双方の手で何が作れるかそれぞれ見立てた形をイメージして楽しむ。
	お寺のおしょうさん	・友達と向き合っ、自分の手と友達の手を交互にテンポよく触り歌が進む。最後にはジャンケンで勝負が決まる。
	大きくなったらなんになろう	・様々な職業が出てくる楽しさや、一緒に歌詞を考え、作っていく面白さがある手あそびなのでみんなで楽しめる。
仲間づくり	ジャンケン列車	・ジャンケンが分かればだれでも一緒に遊べる。 ・勝てば先頭になったりチャンピオンになったりできる。 ・いろいろな友だちと繋がったり関わったりできる。
	おちゃをのみにきてください	・いろいろな友達と仲良くなりたと思った時に、簡単なルールで歌を歌いながら遊びを進められる。出会った友達と手をつなぎ次々かわっていくことで遊びを楽しむことができる。
	ひっこし鬼	・指示された言葉をよく聞いてその場所に逃げる、という簡単なルールの鬼あそびである。指示と違う場所に行ったり逃げるのが遅いと捕まってしまう。
お話	へったれ嫁さん	・各地に伝わる民話である。この話は白石に伝わる話。お嫁さんの悩みである「大きなおなら」が人々に役立ち、喜ばれるという互いの個性や良さに気づくお話である。
	もちもちの木	・主人公まめたの勇気と葛藤のお話。弱虫でねしょんべんのためだが大好きなおじいさんを助けたい一心で頑張る姿に感動を感じる。
	はなさき山	・困っている人に寄り添う、優しくする。助けてあげる。自分がされてうれしいことを人にもやってあげよう、そんな気持ちにさせてくれる絵本。
体操	白石うーめん体操	・白石の名産品である白石温麺が題材になった体操である。歌詞の内容が動きを誘発させてくれる。口ずさみながら楽しく動ける体操。

※楽譜等は資料編参照

白石市教育委員会スタートカリキュラム

小学校で日常的に作成されている週案の様式で1～4週目まで作成しています。その週を見開きで使用できるように改善しました。左側に活動計画と環境構成の参考資料を記載しています。

週案タイプ 白石市基本モデルプラン					
第1週		令和7年4月7日(月)～4月11日(金)			
【今週のねらい】		【心をほぐす】 安心して学校で過ごすことができるようにする。			
7日(月)		8日(火)	9日(水)	10日(木)	11日(金)
行事等			入学式	園で歌った歌や手遊びで一日をスタート	
1				音楽 手遊びをしよう うたっておどってなかよくなろう	音楽 手遊びをしよう うたっておどってなかよくなろう
				学活 元気な返事やあいさつ 学習道具の出し入れ プリントのもらい方	国語 きこえるよ 体を動かして言葉のリズムを楽しもう
2				学活 1年生になったよ トイレ・靴箱・ロッカーの使い方	国語 たのしくかこう 姿勢や手の置き方 鉛筆の持ち方 よろしくね 名前を書いてみよう 名前を教え合おう
				生活 どきどきわくわく1ねんせい はじめましてきょうしつ 学校の一日を知ろう 先生と学校の中を歩いてみよう	図工 すきなもののなかに すきなものの絵を描いて名札をつくろう 生活 作った名札を見せ合って名前を教え合おう
3					生活 がっこうだいすき 登下校時のあいさつ・交通安全のルール
					生活 がっこうだいすき 登下校時のあいさつ・交通安全のルール
4				学活 掃りの用意の仕方・コースごとに整列・下校指導	学活 掃りの用意の仕方・コースごとに整列・下校指導
5					
配当 時数				生活 1. 5 音楽 0. 5 学活 2	生活 1 音楽 0. 5 学活 0. 5 国語 1. 5 図工 0. 5
<p>参考資料</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center; background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">自分でできる</p> <p>自由に遊べる時間や場所を用意することで、自分で活動を選び、自分から取り組んでいきます。そのことで、自ら学びに向かっていく意欲も湧いてきます。また、集団での活動が苦手な子供には、落ち着いて活動することができるコーナーを用意するとよいでしょう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center; background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">目で見て分かる</p> <p>一日の予定や活動の手順が、文字や絵、写真などで提示されることで、見通しをもち、安心して活動することができます。クラス表示やトイレ表示などは、子供の目の高さに設置することが大切です。音声言語だけでは内容や指示が十分に理解ができない子供も迷わずに活動できます。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center; background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">友達ができる</p> <p>入学当初、園と同じような生活空間を意図的につくります。例えば、机を班の形にすることで友達との距離がぐんと縮まります。そのことが子供の安心感にもつながります。さらに人間関係が豊かになります。</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">(出典)「必携! スタートカリキュラムスタートブック」(平成27年1月 文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター) から抜粋</p>					

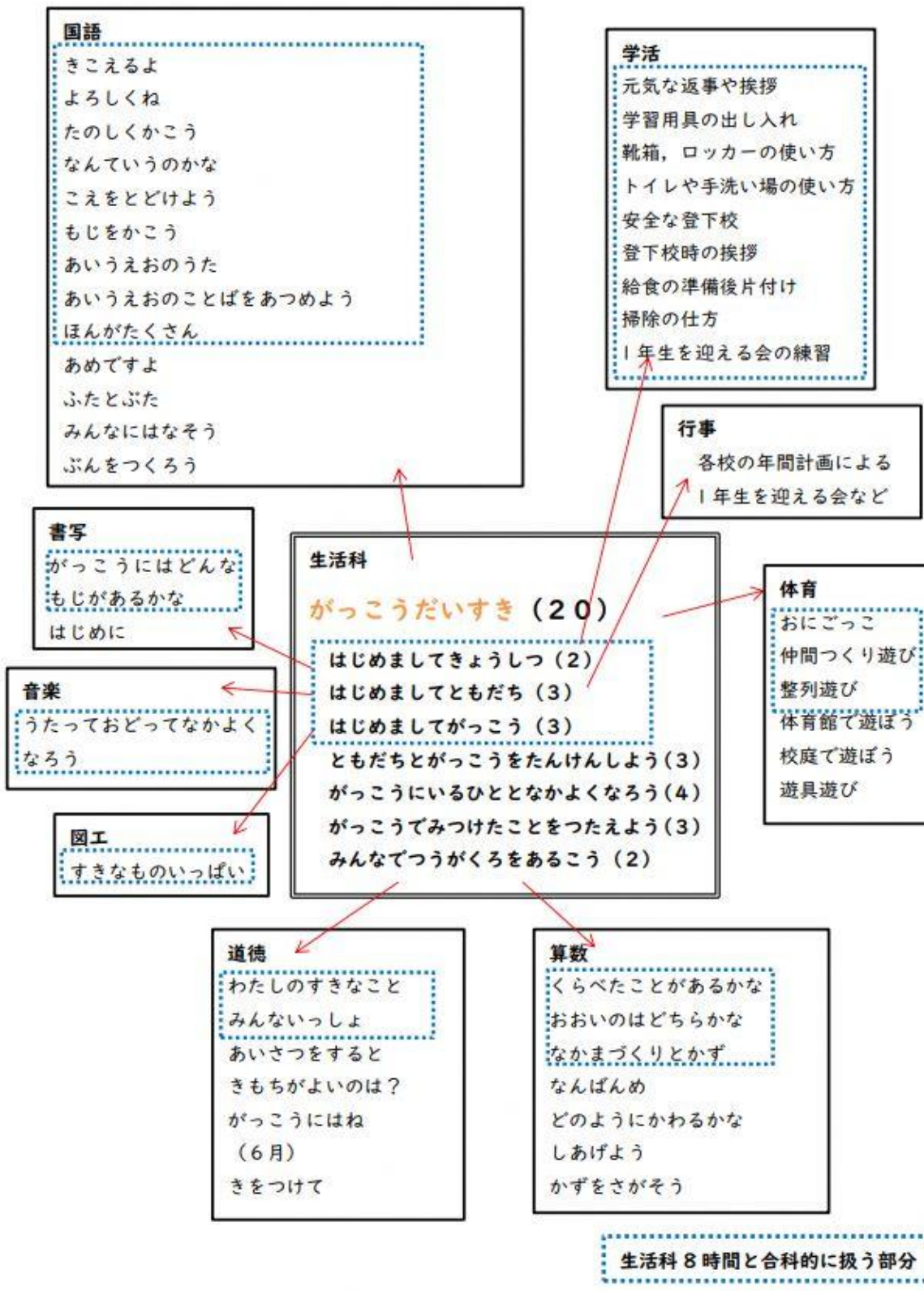
見開きの右側に、幼児教育からの接続を踏まえたポイントを具体的に記載しています。担任だけではなく、支援員等にも留意してもらうことができるように活用しています。

白石市基本モデル	
第1週	令和7年4月7日（月）～4月11日（金）
【幼児教育からの接続を踏まえたチェックポイント】	
<p><input type="checkbox"/> 入学式の翌日は、子供は不安でいっぱいであることに配慮する。45分授業という学校の動きを重視するのではなく、子供の気付きや園との違いなどの声に耳を傾けながら活動を広げるようにしたい。</p> <p><input type="checkbox"/> 教室に絵本のコーナーや自由遊びのスペースを作り、新しい環境の中でも落ち着いて過ごすことができるようにする。 ☞ 『安心して学べる環境構成 1』（左ページ）を参考にして教室等の環境を準備する。</p> <p><input type="checkbox"/> 特に1週目は、机の配置を一人一人として活動する時間を少なくして、まとめて活動できる配置を取り入れるようにする。</p> <p><input type="checkbox"/> 子供が園で経験したことを取り上げ、教師がその声をつなぎながら子供たちが伝え合い、活動を広げていくようにする。 ☞ 教師の説明の時間が長く続かないように気を付けていきたい。</p> <p><input type="checkbox"/> 1時間目の音楽では各園で歌った歌や手遊びを取り入れ、安心して学校生活の一日のスタートがきれいにする。 *うーめん体操、1年生マーチなど</p> <p><input type="checkbox"/> 複数学級がある学校では、1時間目の音楽を学年全体での活動として設定することで、友達づくりに対する不安を解消するとともに、担任だけでなく、たくさんの先生が見守っていくことで安心感をもてるようにする。 (特別支援担当、7学年、支援員も1時間目の活動に加わるように配慮したい)</p> <p><input type="checkbox"/> 1年生はゼロからのスタートではない。「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を踏まえた活動や指導を工夫する。</p> <p><input type="checkbox"/> 生活科を中心に合科的・関連的な指導を行う。 別冊の【単元デザイン①】を参考に計画をたてる。</p> <p><input type="checkbox"/> 国語の4月教材群は、子供の実態や学校生活の流れに合わせて、学習活動の一つ取り出したり、複数を組み合わせたりして、1回あたり5分から15分程度で扱うようにする。</p> <p><input type="checkbox"/> 「うたっておどってなかよくなるう」では、知っている曲に合わせて、じゃんけん列車ゲームを行い、新しい友達との交流を図る。</p> <p><input type="checkbox"/> 週計画では時間の枠で区切っているが、実際の活動では子供の思いを拾い上げながら滑らかに活動をつないでいくようにする。</p>	<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>1週目、2週目は</p> <p>『安心できる』をキーワードに</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p style="color: orange;">スタートカリキュラムに 幼児教育の考え方を取り入れることで、</p> <div style="background-color: #fff9c4; border: 1px solid gray; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <p style="font-size: 2em; color: orange; font-weight: bold;">安心</p> <p style="color: orange; font-weight: bold;">子供に 安心感が生まれます！</p> </div> <p style="font-size: 0.8em; color: gray;">入学に際して、子供は期待と同時に不安を抱えています。スタートカリキュラムにおいて、幼児期に親しんだ活動を取り入れたり、分かりやすく学びやすい環境づくりをしたりすることで、子供は安心して小学校での生活をスタートすることができます。また、先生や友達と関わる活動を通して、出会いの喜びや学校の楽しさを感じることができます。こうした安心や楽しさは小学校での生活の支えとなり、いわゆる小1プロブレムなどの予備や解消にもつながります。</p> </div> <p style="font-size: 0.8em; color: gray;">(出典) 「必携! スタートカリキュラムスタートブック」(平成27年1月 文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター) から抜粋</p>

新たに作成した「単元デザイン」です。生活科を中心として各教科を合科的・関連的につなげたり、単元間を関連付けて学習を組み立てたりすることを指導者が視覚的につかみやすくデザインしました。体験から児童の思いが膨らみ、活動が生まれ発展していくように意図をもって関連付けています。

生活科1年 単元デザイン① 4～5月

*体験から児童の思いが膨らみ、活動が生まれ、発展していくように、意図をもって環境構成をしたり、単元間や教科間を関連付けたりする。

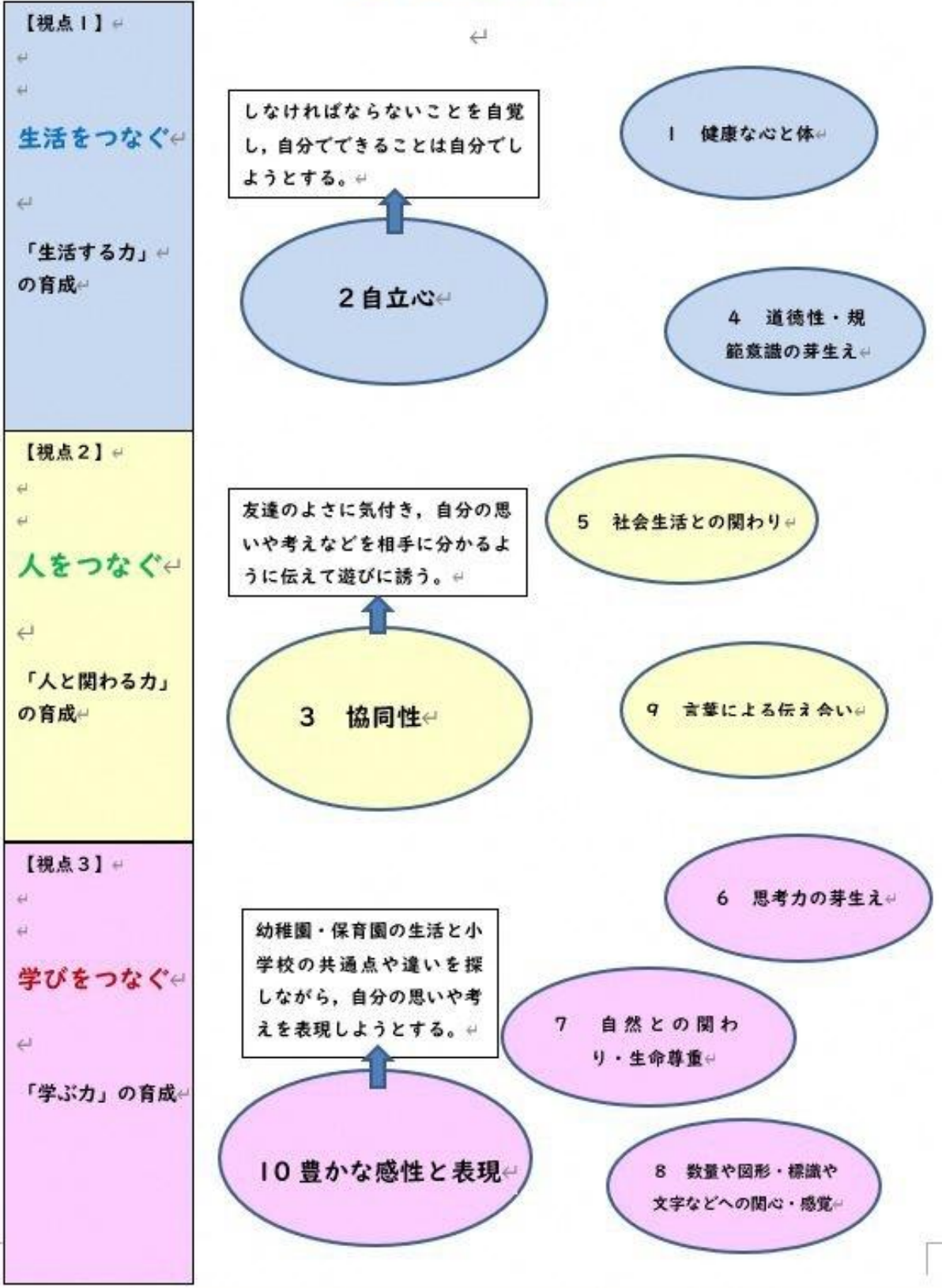


「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とのつながりは、小学校での育ちを就学前施設での育ちと関連付けて見取ることができるようにしています。

生活科1年

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とのつながり① 4～5月

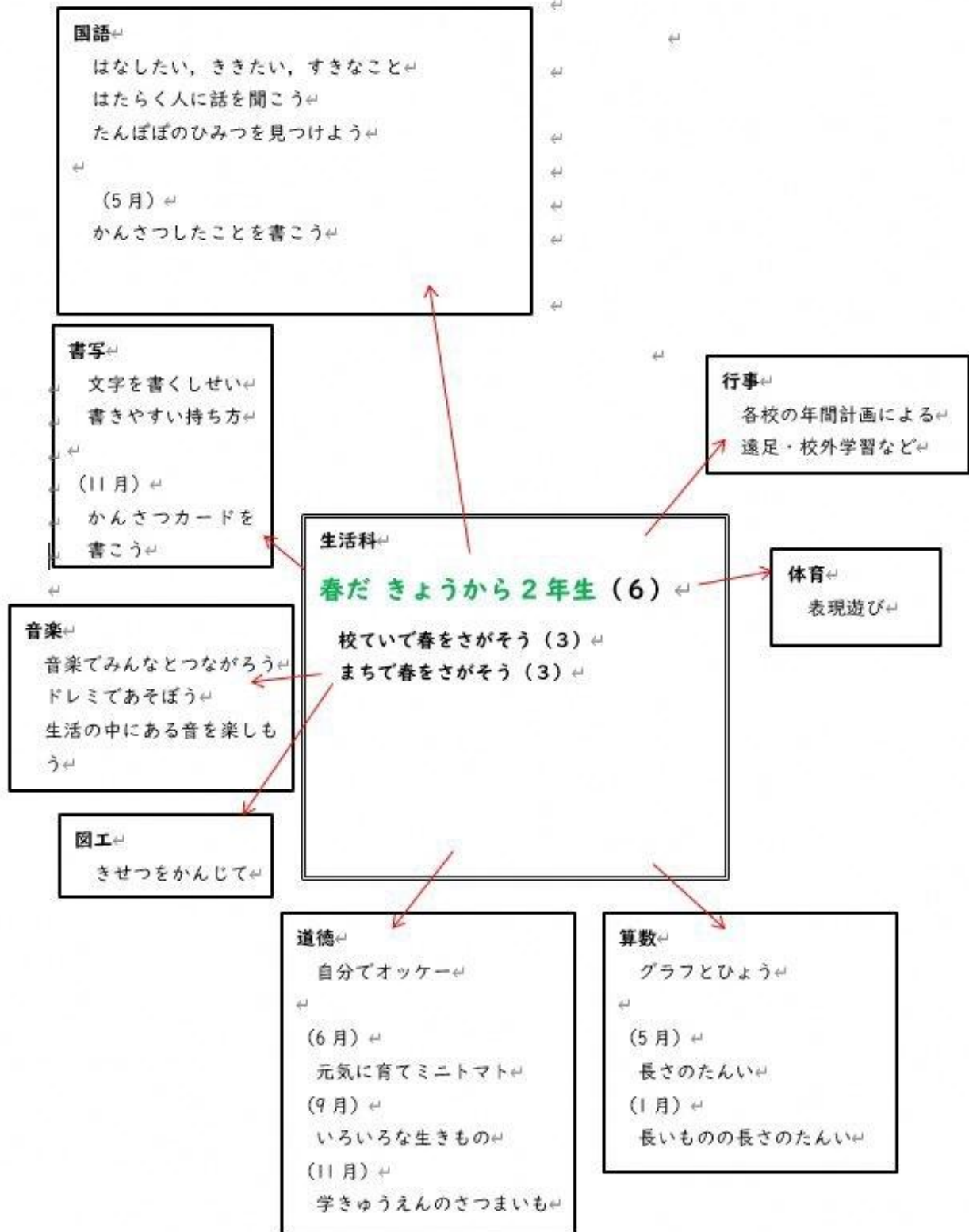
「がっこうだいすき」



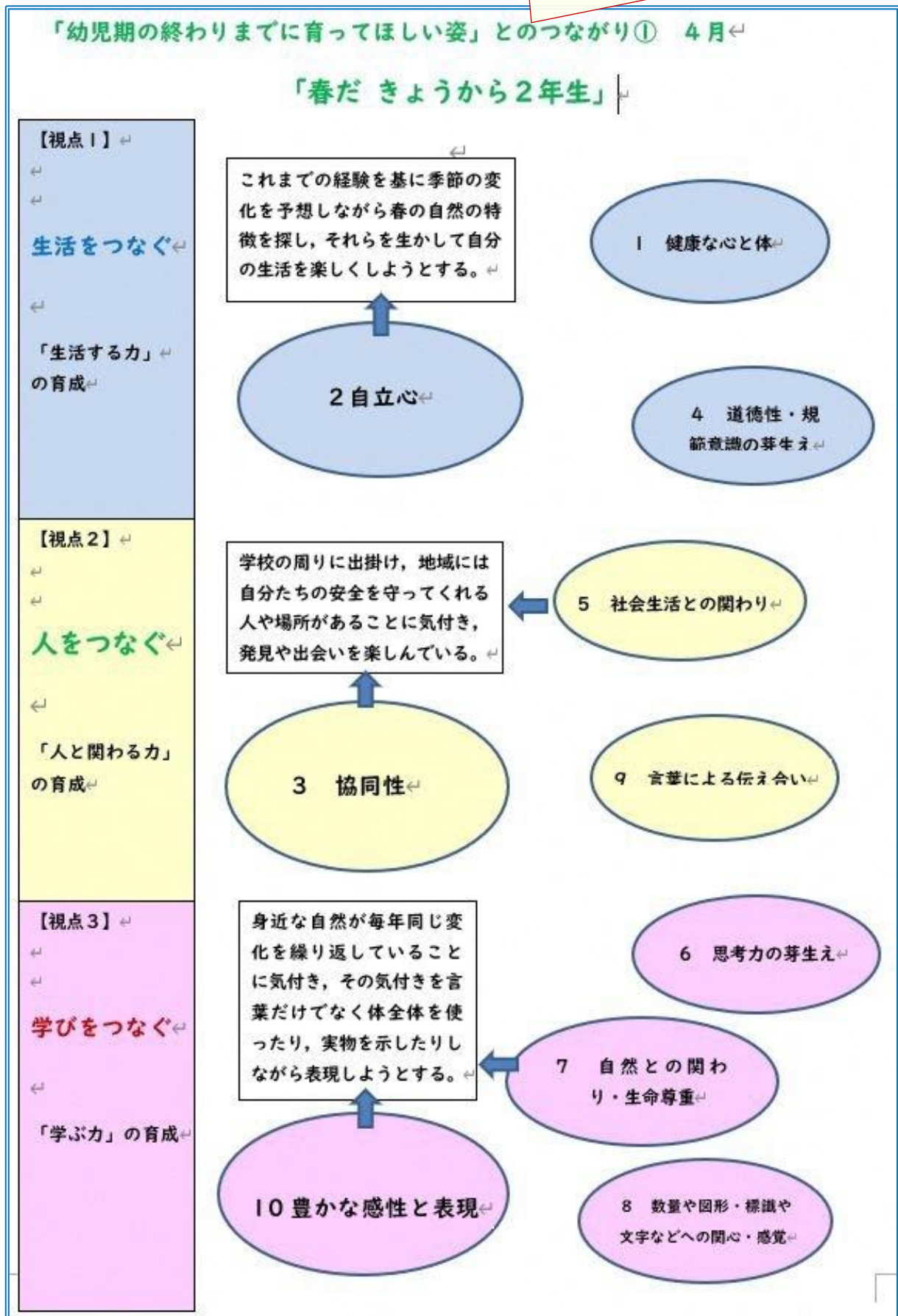
2年生の生活科についても「単元デザイン」を作成しました。これは1年生からの学びの連続性を意識した教育活動が展開できるようにしたものです。

生活科 2年 単元デザイン① 4月 ←

*体験から児童の思いが膨らみ、活動が生まれ、発展していくように、意図をもって環境構成をしたり、単元間や教科間を関連付けたりする。 ←



2年生に進級しても生活科の中に架け橋期カリキュラムのつなぐを意識して作成しています。



各小学校での実践を検討しながら改善を行いカリキュラムに反映させる

幼保小 福岡小学校資料

★国語★



動作化して楽しく内容を理解できるようにする
【例】机を叩く、足踏みをする、教室を歩くなど



活動を何回かに分けて行う
(授業の始めなどに)
【例】お互いにシールを交換しながら自己紹介をする。

★算数★




導入で学習内容の見通しを持たせながら、これまでの経験を共有する
(次時の内容を知らせる時に、事前に関しておくと実態の把握もできる。)

学習したことを実際の生活場面で使う
なんばんめ 教室で座っている時や体育の授業の時に、「2番目の人は立ってください。」など声を掛けながら既習事項が定着するようにする。

※2とびやらとびの学習をした時には、子供達から「先生が並ぶときに教えるやつだ」と声が上がった。

★道徳★



これまでの経験と関連付けて考えさせ、自分の生活を振り返らせる。→学校でのマナーやルールの定着きもちがよいのは？

教科書の写真を見て、片付けの仕方などでよくないところを考えさせたあとに、自分たちの整理整頓の仕方について振り返りをさせた(お道具袋の中、廊下の荷物の掛け方、教室のロッカー)。「ロッカーから水筒の紐が出ていると危ないし、掃除の時邪魔になるよね」と声を掛けると、「ぼくの園では、水筒に紐を巻き付けるといって先生から教わった」という声が上がりました。みんなやってみようということになった。

★生活科★

がっこうだすき

6年生と学校探検
(福岡小学校のルールなどを教えてもらう)

みんなでどんな教室や部屋があったか共有

学校地図へ書きこむ(教室名)

先生方へインタビューにいく計画を立てる
(どんな仕事をしているのか他に、どんなことを聞いてみたいかペアで考える)

発表会を行う

インタビューして分かったことを学校地図に貼る
(好きな食べ物や動物などインタビューしたことに関する絵)

全体での学習のあと、興味関心に応じて学習を継続できる環境を整える。
【例】学校地図を子供の手の届く高さに掲示する。画用紙やペンなどを置いておき、子供が自分で追加していけるようにする。

他の教科で学習したことを生かす。
【例】発表の事前指導では、国語で学習した「こえをとけよう」を思い出させ、発表するときの声の大きさなどを考えさせました。

環境に配慮した小学校の実践

10月3日 2年生活科

あきのおもちゃさんの たのしさを1年生につたえたいな!

- ・たのしいことをわかってもらうために、1年生にあそんでもらおうよ。
- ・ほいえんの子たちがあそびやすいように、あそびをくふうしたんだよ。
- ・ならばせるときにも、きょうぎゅうにならないうようにしてあげるといいよ。
- ・なんかいもあそびたくなるように、あそびをかんたんにしすぎないほうがいいよ。ちょっとおずかしいほうが、「もう1かいやりたい!」ってなるんだよ。



ドキュメンテーションを見ながらどう展開していくか話し合う。

次年度の1、2年生への参考資料としても活用できる。

白石市教育委員会 小中連携の学びの連続性における全体構想

中学校までの学びの連続性を意識した取組を行うため、小学校3年生から中学校3年生までの全体構想をモデル中学校区で作成しました。
 「学びをつなぐ」「人をつなぐ」「生活をつなぐ」の3つの視点と関連させながら、小中学校での学びの連続性が一覧できるように作成しています。

福岡中学校区で育てたい子供の姿と学びの連続性							
学年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
教科等	主体的・対話的で深い学び（個別最適な学び・協働的な学び）						
	<ul style="list-style-type: none"> 各教科において、「主体的」「対話的」「深い学び」の視点を踏まえたテーマのもと、生徒自身が自らの学習を調整し、粘り強く取り組むことができる。また、ICT機器の特性を理解し、多様な教育コンテンツやHCE/ICTを課題解決や思考、交流、表現等の場に応用することができる。 A1ドリルを積極的に活用し、知識・技能の定着を図る。授業の導入では既習事項の確認、展開では演習問題や発展問題への挑戦、終末では適用問題として取り組む。また、授業だけでなく「学びタイム」でも活用する。 						
必書く視点を整理して、条件に合わせて自分の考えを書く活動を設定する。（小中連携：全国学力・学習状況調査の課題を基にした授業改善の視点）							
総合的な学習の時間	○福岡を知ろう	○白石の産業を知ろう	○リーダーに向けて	○福祉の未来を考えよう	○防災教育と地域の現状と課題	○進路選択に向かって	○志の実現を目指して
	○いろいろな人を知ろう（福祉）	○10年後の自分を見つめよう	●宿泊体験学習に向けた探究的な学習（長く大切にされてきた蔵王の自然）	●修学旅行に向けた探究的な学習（白石市・会津若松市の歴史）	●卒業に向けて、これからの自己の生き方を考える学習	●自己の将来に夢や希望を抱き高を立て、目的意識を持った生き方を考える。	●将来、自分の歩む道についての展望を持つ。
P4C	・p4cの約束を守り、安心して話せる環境の中で思いに対する考えや思いを伝え合ったり、自分とは異なる意見からも新たな気づきを得たりすることができる。		・自分たちで立てた問いについて自分の考えをもち、多様な意見を受け入れ、尊重する姿勢で思いを伝え合うことを通して自らの考えを深めることができる。		・セーフティを確立することで、よりよい人間関係を築くことができる。自分たちの問いを大切に、主体的に学ぶ力、探究心を高めることができる。互いに顔を見て話すことで、対話的に学ぶ力、コミュニケーション力、深く考える力を高めることができる。		
	●元気に過ごし、しっかり学ぶために、ゲームやテレビ、スマホはどのように使えばよいか。		●自己の生活習慣を振り返り、問題点を見いだす。自律した自分に近づくために必要なことは何か。		●自律や自己実現を果たすために、メディアコントロールの必要性と難しさ等について、実際の事例や事件等から問いを立てる。		
志教育	・友達と協力する中で、互いのよさを認め合ったり励まし合ったりすることができる。		・様々な集団の中で自己を生かすことができる。		・物づくりの学習を通して作成した作品を各小学校へ届け、作品に込めた思いを伝える。		
	・将来の夢や希望をもち、学習や体験活動に取り組むことができる。		・夢や目標をもち、将来の生活や仕事について、学習や体験活動を通して考えることができる。		・自己の役割や責任を果たすことで、人のために役立つ喜びを体験する。		
自立から自律へ～主体的に行動し、自分らしさを発揮する～							
生活習慣	●「学び・生活のスタンダード」（学校生活・学習・生活の約束） ●生活リズムチェック/「ルルブル」ふれあいウィーク（健康的な生活習慣の確立） ●インターネット安全教室（外部講師による情報・ネットリテラシー教育）				・メディア（ゲーム・スマホ等）の使用を家族で話し合い、使う時間を決め、コントロールする。 ・コントロールして生み出された時間を、家庭学習や家族とのふれあい等に利用する。		
小中連携			・宿泊体験学習(蔵王)	・修学旅行(会津若松) ・福岡中学校区小中交流会			
小中交流会	学びノート家庭学習の手引き				福岡中学校区3校交流会（福岡中学校説明・授業見学・部活動体験）		
	福岡中学校吹奏楽部演奏披露（福岡小/深谷小：学習発表会）						